

授業科目名	現代社会と人間				科目コード	X511-10			
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系			担当教員名	大森 聡				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	選択			単位数	1単位				
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は添付資料を参照のこと。 Webシラバスの毎回の授業アンケートへの入力をもって出席とします（当日18：30㍻切）。未提出の場合は欠席扱いとなるので注意すること								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「子どもと保育」、「情報と経営」、「福祉と健康」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	文理融合								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	毎回の振り返りアンケート(40%程度)、最終回のレポート(60%程度)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。尚、追再試験は実施しない。 レポート課題について→								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（スマートフォンもしくはノートパソコンを毎回持参すること） 食物栄養学科 准教授 川口 将史	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第2回	健康福祉学科 准教授 小平 達夫 「特色ある国際労働力移動から見る人材育成」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第3回	経営情報学科 准教授 山下 裕介 「ビジネスの倫理学を考える」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第4回	富山短期大学 学長 高木 利久 「大学で学ぶということ、情報学を学ぶということ」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第5回	社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホーム ささづ苑 施設長 岩井 広行 「D Xの推進で現場革新」～生産性向上で生み出した資源を地域のために～	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第6回	高岡市長 角田悠紀	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第7回	幼児教育学科 講師 塩見 一成 「自分の幼少期を思い出しながら、子どもの健康について考えてみよう」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第8回	総まとめ レポート課題の作成 レポートの作成に必要なものを持参する。	
	【予習】今までの講義内容を「振り返り授業アンケート」で復習し、疑問点や意見をまとめておく。	90分
	【復習】今までの講義の中での疑問や不明点は調査し、まとめてレポートとして仕上げる。 期末のレポートは課題1にアップロードする。	90分

授業科目名	食生活論				科目コード	F111-10			
科目区分	専門科目 - 栄養士専門基礎科目 - 社会生活と健康				担当教員名	大森 聡			
実務経験									
開講時期	1年前期				授業の方法	講義			
必修・選択	必修				単位数	1単位			
前提科目(知識)	高等学校卒業程度の家庭科の知識				後継科目	公衆栄養学 ・ 、社会福祉論			
関連科目									
資格等 取得との関連	栄養士免許・栄養教諭二種免許の各資格に必須								
授業の概要	栄養士の資格について、時代の移り変わりと栄養士の役割、栄養素の働きや体の構造、科学用語や実験器具など、専門科目を学ぶ前に覚えておくと役立つ基礎知識などを開設する。								
学習目標	栄養士・管理栄養士の歴史を踏まえ、健康であるための適切な栄養摂取の方法を考える能力を培うことを目標とする。								
キーワード	初年次教育 導入教育								
テキスト・ 参考書等	めざせ！栄養士・管理栄養士 まずはここから・ナビゲーション 第一出版								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	栄養士・管理栄養士について理解できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	栄養士の取り巻く環境について理解し、生涯にわたり学ぶ姿勢がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	60		30						90
LO-2									
LO-3									
LO-4	10								10
LO-5									
備考	レポート課題については、チェックの後、学生からの要望があれば返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養士・管理栄養士とは、職業倫理について理解する。	
	【予習】シラバスを読み、講義の内容や目的を抑えること。 テキストの始めからP.12まで目を通しておく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第2回	第1回の振り返り、職業倫理、管理栄養士・栄養士が活躍する職場	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第3回	第2回の振り返り 食生活・食文化の基礎知識について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第4回	外部講師の授業	
	【予習】健康と栄養素の関係を調べておく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第5回	現場で働く管理栄養士・栄養士について（学校給食）	
	【予習】学校給食について調べておく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第6回	第4、5回の振り返り 栄養士・管理栄養士の活躍する場所	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。 スポーツ栄養に関わる資格	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	120分
第7回	現場で活躍する管理栄養士・栄養士（病院）	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	240分
第8回	第7回の振り返り 献立作成について、校外実習への心構え	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】期末課題 全国栄養士大会・オンラインの動画視聴	60分

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育者論 子どもと社会					
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史的変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状に関心をもち、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は、受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か ～保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。 選択してみましょう	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	10分
	【復習】講義内容を教科書第1章で確認する。 思想家の言葉から、保育とは何かを改めて考えてくる。 保育とは何か	60分
第2回	保育とは何か ～養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】指定された教科書の部分を読む	20分
	【復習】来週に向けて、！や？の出来事を考えておく（来週の授業で書いてもらいます）	60分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】教科書の第2章を読んでおく	20分
	【復習】課題シートを完成する。	80分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。	
	【予習】前回の内容を振り返っておく	30分
	【復習】教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解する。	100分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解	
	【予習】テキスト第7章を読む	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。	100分
第6回	発達観の理解 保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読む。	30分
	【復習】指針や要領等に書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。 課題1（自分で学習しておく、提出不要、小テストで確認します）プリント	40分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を再確認する。	40分
	【復習】次回小テストの準備をする。 小テストの内容：第7回に配付した資料の裏面（穴埋め式）の内容＋領域について、3つの資質・能力	50分
第8回	小テストの実施 保育の内容 保育の内容を構造的に理解する。	
	【予習】指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】課題プリントを来週の授業までに完成させておく。	60分
第9回	保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴	
	【予習】教科書第3章を読む。	40分
	【復習】課題プリントを完成する。	150分
第10回	第50回幼児教育研究会 参加 講演「逆境に強い子どもを育てる」 榎原洋一先生 新しい保育制度の背景と今後の保育の方向性を考える 詳細は別紙 説明用紙	
	【予習】教科書の指定部分を読む。	30分
	【復習】講演後のレポート提出 6月27日(火)3限 締切 ワード提出レポート用紙	120分

第11回	新しい保育制度について （保育内容を考えるは次回） 参考資料 保育施設一覧認定こども園私立幼稚園	
	【予習】小テストの準備をする	40分
	【復習】課題の確認 資料富山市外の認可外保育施設 富山市の認可外保育施設：広く使えるもののみ	120分
第12回	保育の歴史と思想 世界及び日本における保育の歴史と思想 資料	
	【予習】テキスト第5、6章を読む。	40分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。 教科書3、4章を読んで理解する。時間があれば第14章 p193～を読む	60分
第13回	小テストあり 保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】資料を読んでおく。	60分
	【復習】講義中に提示されたテーマについて、自らの意見をまとめて文章化する。	180分
第14回	諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。	
	【予習】小テストの準備をする	80分
	【復習】小テストの内容を再確認しておく。 保育の思想スライド資料 日本の歴史+試験についてのスライド資料	120分
第15回	現在の保育における課題 基本知識の確認 問題1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	120分
	【復習】試験の準備をする。 授業の問の答	160分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理	担当教員名	嶋野 珠生						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	子ども家庭支援の心理学						
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	1．保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2．子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3．乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義								
キーワード	乳幼児の発達心理 臨床心理 教育心理 発達過程								
テキスト・ 参考書等	原口喜充編（2023）「実践に活かす保育の心理学」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことができる。								
LO-5	〔人間性・社会性〕 仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	10			30			100
LO-1	20	10							30
LO-2	20	10							30
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中の参加態度（発表の態度や表現、グループワークへの参加意欲や他者との協力の度合い、自らふり返り思考する力など）を総合的に評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を学ぶ意義 初回授業 赤ちゃんに関するアンケート 初回授業 赤ちゃんのイメージに関するアンケート	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認する。 教科書pp.2-13を読んでおく。	20分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.2-13を復習しておく。 赤ちゃんのふしぎな世界（日本産婦人科医会2018/1019動画）	40分
第2回	子どもの発達と環境	
	【予習】教科書pp.14-26を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.14-26を読み直し復習する。 アルバート坊やの恐怖条件付けに関する動画YouTube	90分
第3回	発達理論と子ども観・保育観—初期経験の重要性と生涯発達の視点から—	
	【予習】教科書pp.27-40と p.7を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.27-40および p.7を読み復習する。	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達 脳のシナプスと神経回路YouTubeについて最初の3分間視聴するとよくわかります。	
	【予習】教科書pp.42-52を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト1 を行い送信する。 授業スライドを見直す。 教科書pp.42-52を読み直し復習する。	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達—発達を支えるアタッチメント	
	【予習】教科書pp.53-66を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.53-66を読み直し、復習しておく。	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達—自己と感情・情動の発達	
	【予習】教科書pp.67-80を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.67-80を読み復習する。	90分
第7回	子どもの発達過程：社会性の発達	
	【予習】教科書pp.81-93を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.81-93を読み復習する。	90分
第8回	子どもの発達過程：認知の発達 三つ山課題動画 保存概念動画	
	【予習】教科書pp.94-108を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト2 を回答して送信する。 授業スライドを見直す。 教科書pp.94-108を読み復習する。	90分
第9回	子どもの発達過程—言語の発達	
	【予習】教科書pp.109-120を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.109-120を読み復習する。	90分
第10回	発達障害と発達	
	【予習】教科書pp.121-134を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.121-134を読み復習する。	90分

第11回	発達障害と発達 DVD視聴から発達障害当事者世界についての理解を深める	
	【予習】東田直樹オフィシャルサイトを見ておく。 東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」をできれば読んでおく。	90分
	【復習】課題 「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんと自閉症について、以下のレポートを作成する。 □書式：ワード文書をダウンロードしファイル名「保育の心理学第11回」として保存する。	90分
第12回	虐待から考える発達	
	【予習】教科書pp.135-149を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.135-149を読み復習する。 セーブザチルドレンJAPANサイト	90分
第13回	保育にいかす学習理論	
	【予習】教科書pp.150-163を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト3提出。 授業スライドを見直す。 教科書pp.150-163を読み直す。	90分
第14回	遊びの発達	
	【予習】教科書pp.164-177を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.164-177を読み復習する。	90分
第15回	乳幼児期の学びの過程と特性、乳幼児期の学びを支える保育	
	【予習】教科書pp.178-202を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト4提出 提出期限：8/1（火） 教科書pp178-202を読み復習する。	90分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	子どもと社会					
関連科目	保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	本講義では、現代の教育および教師（保育者）の役割や課題を理解し、明確な根拠（教育の基礎理論）を踏まえて議論できるようになることを目指す。そのために、教育の基礎的な理論・歴史・思想の概説、今日の教育（幼児教育を含む）の論点に関するディスカッション、多様な文献についての意見交流、の3つを軸とした講義をおこなう。								
学習目標	1.教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を理解する。 2.小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を理解する。 3.他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会編（2019）『教育原理（最新 保育士養成講座 第2巻）』全国社会福祉協議会。								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60			10			100
LO-1		15							15
LO-2									
LO-3		15							15
LO-4			60			10			70
LO-5									
備考	・その他Aはミニツツペーパーによる。 ・学習過程を振り返りながら講義・ディスカッションに参加できるように、ポートフォリオ（2穴リング式A4ファイル）を準備し、そこに講義で配布する資料、ミニツツペーパー、小レポート等を収めること。 ・レポート等に剽窃が確認できる場合は単位を不可とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 講義の内容、方法、評価を概説する。自身の教育体験・教育観を捉え直す必要性を実感してもらう。		
	【予習】シラバスや教科書を眺め、授業内容を把握する。		45分
	【復習】自身の教育体験を踏まえて、教育とは何かについてまとめる（小レポート）。		45分
第2回	教育とは何か 教育の定義を概説し、教育の意義を理解する。		
	【予習】第1章を通読のこと。		90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。		90分
第3回	教育と家庭福祉 子どもの福祉の基礎となる児童の権利条約、日本国憲法、児童福祉法などを概説し、その理念を理解する。また家庭福祉についても取り上げる。		
	【予習】第2章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第4回	諸外国の教育思想と歴史 現在の教育を捉え直すために、過去の諸外国の教育理論・思想および子ども観の変遷について概説し、今後の教育観・子ども観の展望への理解を深める。		
	【予習】第3章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第5回	日本教育思想と歴史及び現代の教育制度 日本における教育思想の歴史と現代の教育を取り巻く教育制度および教育法規等を概説する。特に公教育の原則や教育委員会制度、コミュニティスクールなどを理解する。		
	【予習】第4章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第6回	教育の実践と展開 教育実践の展開を捉える目標・評価・方法という3つの視点について概説し、それらの視点から就学前教育の実践の特徴について理解する。		
	【予習】第5章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第7回	諸外国の教育 諸外国の教育制度と教育運動を概説し、それらが日本に与えた影響を理解する。		
	【予習】第6章を通読のこと。		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。		90分
第8回	生涯学習社会における教育の課題 生涯学習について概説し、ライフコースにおける乳幼児期の重要性和、保育者として生涯にわたって学び続ける意義について理解する。		
	【予習】第7章を通読のこと		90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと		90分
第9回	接続期の教育 小1プロブレム等の接続期の課題やその背景に基づき、幼稚園教育や保育所保育と小学校教育の円滑な接続の重要性を理解する。		
	【予習】配布資料を通読のこと。		90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。		90分
第10回	近代における諸外国の就学前教育における様々な実践について理解を深め、日本の就学前教育への影響等を考える。		
	【予習】配布資料を通読のこと。		90分
	【復習】ディスカッションを通して、就学前教育について理解を深める。		90分

第11回	ユニバーサル社会とインクルーシブ教育 ユニバーサル社会における様々な動向と、インクルーシブ教育の背景や意義、特別支援教育の現状等を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第12回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論と内容・方法、計画・評価について、事例等に基づいて理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第13回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論を踏まえて、様々な事例を通して子どもや保護者への支援について理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	現代教育の課題 現代における様々な教育課題の中から、関心のあるものを選び、ミニレポートにまとめる。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
第15回	現代教育の課題 教育課題のミニレポートにまとめたものを持ち寄ってグループディスカッションを行い、自分の教育観を捉え直すとともに、教育課題への関心を一層高める。	
	【予習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
	【復習】最終レポートの執筆をおこなうこと。	90分

授業科目名	簿記演習			科目コード	M133-32				
科目区分	専門科目 - 会計科目 - 会計		担当教員名	藤野 裕					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	日商簿記3級合格者（レベル）対象。日商簿記検定2級の内容に一通り触れていることが望ましい		後継科目	管理会計					
関連科目	財務会計 簿記演習								
資格等 取得との関連	日商簿記3級、上級ビジネス実務士（領域2）、上級情報処理士（領域2） ウェブデザイン実務士（-）、秘書士（-）、ビジネス実務士（領域2）、情報処理士（領域2）								
授業の概要	日商2級の問題集の練習問題演習を中心とします。2級は商業簿記と工業簿記に分かれますが、商業簿記を中心とした問題演習を行います。 商業簿記の中でも、連結会計に特化し、解説を行います。 日商3級合格者（レベル）対象であることを理解して受講してください。								
学習目標	日商簿記検定2級練習問題レベルの連結会計の基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
キーワード	日商簿記検定2級								
テキスト・ 参考書等	合格テキスト 日商簿記2級 商業簿記 Ver.14.0（TAC出版） 合格トレーニング 日商簿記2級 商業簿記 Ver.14.0（TAC出版）								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】日商簿記2級レベルの基本的な論点を理解し、標準的な問題が解ける。								
LO-2	【技能・表現力】								
LO-3	【思考・判断力】								
LO-4	【関心・意欲・態度】能動的で積極的な学習態度がみられる。								
LO-5	【人間性・コミュニケーション力】								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	80					20			100
LO-1	50								50
LO-2									
LO-3	30								30
LO-4						20			20
LO-5									
備考	電卓（12桁）を持参すること。（スマートフォン等で代用することは禁止）								

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス		
	【予習】シラバスを読み、授業の概要や目的を把握する。 以下の問題は1年生の時に使った問題集		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。） 以下の問題は1年生の時に使った問題集		90分
第2回	連結会計1 連結会計の意義、連結修正仕訳の意味		
	【予習】日商3級の内容を復習する。		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第3回	連結会計2 支配権獲得時の仕訳と、当期純利益の考え方、タイムテーブルを使った解法		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第4回	連結会計3 配当の考え方、開始仕訳の考え方、タイムテーブルを使った解法		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第5回	成果連結		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第6回	連結株主資本等変動計算書の作成		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第7回	中間テストおよび検定試験対策		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第8回	外貨換算会計		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第9回	税金		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分
第10回	株式の発行		
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）		60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）		90分

第11回	剰余金と配当の処分	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第12回	決算手続	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第13回	収益・費用の認識基準	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第14回	伝票式会計	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分
第15回	課税所得の計算	
	【予習】前回の内容に対応した問題を再度、解く。（できない問題は、できるようになるまで解く）	60分
	【復習】講義内容に対応した問題を最低3回は解く。（3回解いてもできない問題は、できるようになるまで解く。）	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名						
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	認知症ケア論		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な心理と行動、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	認知症の人の機能の変化と日常生活への影響を知り、一人ひとりの症状に合った対応方法を考えることができる。								
LO-3	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り、対応方法を説明し、行動することが十分できる。								
LO-4	認知症高齢者支援対策として展開されている行政施策を理解し、自分の住む地域のサポート体制の必要性について知識を深めようと積極的に行動することができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や介護者の思いや感情を体験し、適切な具体的な関わり方について十分理解することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	10	20		40				110
LO-1	20	10							30
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症当事者の人の気持ちを推察する	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】テキストP123～P137までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP138演習	90分
第3回	障害を抱えて生きることへの支援 認知症当事者の視点からみえるもの	
	【予習】認知症の人の行動の根拠を考える	120分
	【復習】認知症ケアに関する論文を読む	60分
第4回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（４）事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（２） 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第6回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ（３） 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア、エンパワメント	
	【予習】テキストP258～P275まで読む	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	介護福祉職への支援	
	【予習】テキストP277～P290まで読む	90分
	【復習】介護福祉職が働きやすい職場環境について考える	90分

第11回	認知症の人の地域支援	
	【予習】テキストP294～P321まで読む	90分
	【復習】認知症の人を支える制度や機関、地域づくりについて理解を深める	90分
第12回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式	
	【予習】センター方式シートを理解する	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 ひもときシート	
	【予習】ひもときシートについて調べる	120分
	【復習】ひもときシートを理解する	60分
第15回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の進行に応じた介護	
	【予習】	90分
	【復習】園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法などについて理解を深める	90分